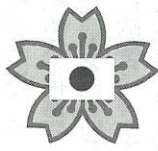


謹賀新年



國の支え

(故中井信夫元大阪府議会議長・95才)

関西防衛を支える会
(略称・関防会)

〒542-0081
大阪市中央区南船場3-11-10
心斎橋太陽ビル7階
TEL 06-6241-1124
発行人 瀨野晃吉
編集人 新川貞敏
印刷所 (株)新聞印刷

第29号

(新年号)

平成19年1月1日(月)
(皇紀2667年)
(大正紀元96年)
(昭和紀元82年)

年頭所感

新年明けましておめでとう、ございます。昨年は高橋季義前会長が亡くなられたという大変悲しい年で、高橋前会長は人間として、経営者として、日本人としても偉大な人であったと思います。われわれはその遺志を継いで全員が協力し合い、日本真正のためにしっかり頑張りたいと思

修学旅行は我が国の聖地鹿屋・知覧へ

会長 瀨野 晃吉



「遺族に大変行って待っていますから」といふ言葉を、責任を重く負って下さる。二人の幼い女児を道連れに荒川(東京)に入水自殺されたのは私一人ではない。その奥様と子供達の死願は実に安らかな心は歌にある、日本の歌で大和心を再生しよう」と言う気持ちの現れであります。本年三月十一日の歌唱祭は、何としても成功させたいと思っております。皆様の御協力をお願いいたします。年頭にあたり各団体の御健勝と御多幸を心から祈念申し上げます。

この藤井少佐の遺書は靖国神社の遊就館に展示されているそうです。この国を守ろうと、このままではいけません。尊い命を捧げられた方々がおられた事を我々は決して忘れてはなりません。とくに、修学旅行で中国や韓国に行つて日本が侵略戦争をしたと言つて頭を下げさせるのではなく、鹿屋・知覧を修学旅行の行く先にするべきです。そうすれば人殺しや自殺をするような子供は育たないはず



高市大臣を表敬訪問し握手する瀨野会長(右18・12・15)

法改正は、本物の日本人を育てたいという思いでやっている。安倍政権がよい方向に進むようにしっかりと支援していくつもりであります。第三に、「防衛」が「省」に昇格した事です。自民党、公明党に加え民主

貴会の発展を祈念します

衆議院議員 内閣府特命担当大臣 高市 早苗

第四十九回理事会並びに年末懇親会のご開催、誠にありがとうございました。本日は私も是非、「一緒に」させていただきましたので、公務日程と重なりど

新年の御挨拶 国防の任務を全う

自衛隊大阪地方協力本部長 補 河村 仁



関西防衛を支える会の皆様、新年あけましておめでとうございます。

ご家族とともにお慶びの申上げます。旧年中は、皆様方から格別のご支援・ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。私は八月四日付けの異動で、自衛隊大阪地方協力本部長を拝命しました河村仁でございます。活気に満ち人情味あふれる関西の皆様方とお会い出来る機会を与えられたことは、この上ない大きな喜びであり、大変光栄に存じております。

さて、今日のわが国を取り巻く安全保障環境は、近隣諸国の軍備拡大、北朝鮮の核実験実施の発表、弾道ミサイルの拡散、テロの脅威など予断を許さない状況

果と思ひ出を大いに分かち合いながら、温かいご懇親の絆を一層深められますよう、ご盛会を心より願っております。

故・高橋季義前会長追悼

第2回 日本の詩情・熱血歌唱祭

平成19年3月11日(日曜日)

・開場 12:00(開演13:00~15:30)
・会場 兵庫県立芸術文化センター

入場無料
先着2000名

〒663-8204
西宮市高松町2番22号
☎0798-68-0288
阪急電車・西宮北口駅南出口すぐ
(梅田駅から特急で10分)

演奏

陸上自衛隊中部方面音楽隊
君が代・海ゆかば・抜刀隊・軍艦行進曲・出征兵士を送る歌・父よあなたは強かった・他
婦人部コーラス
茶摘み・夏は来ぬ・愛国の花・里の秋・他
男性ソロ
青葉の笛・児島高德・アツツ島血戦勇士・他

第9回定時総会の御案内

期日 平成19年5月26日
時間 午後4時30分
会場 ラマダホテル(旧東洋ホテル)
(大阪・地下鉄中津駅下車)
講師 元海上幕僚長 古庄幸一氏

論語子路篇に、子路が、衛の殿様が先生に政治の責任者になつてくれと頼んだら、先生は先ず何からされますか、と問う場面がある。子は答えて曰く、「必ずや名を正さん乎」。即ち、名称を正しくすることが政治の要諦であると孔子は答えるのである。何故なら、「名正しからざれば、則ち言順わず。言順わざれば、則ち事成らず」となるからである。

従つて、小職は、防衛庁の名を正して国防官、自衛隊の名を正して陸海空軍という軍隊に、一等陸尉の名を正して陸軍大尉に、普通科の名を正して歩兵にしようように、我が国の国防組織を、その本質と任務に即した名称に改変しなければならぬと考へている。

何故なら、今までの名は、国防という任務にふさわしくなく、名が任務と合致しなければ、結局、国防という事が成らなくなるからである。

と云ふので、斯への如く名を正すには、政治に如何なる決断が必要であらうか。反対側から言へば、今までの政治は如何なる決断を回避してきたのであつたか。それは、政治の最重要の任務は国防であるといふこと、そして国防という任務を果たすために國は軍隊を保持するといふことである。

よつて、我が国政治が先ず名を正すべき第一の着手点は、自衛隊を軍隊とすることである。この第一の決断が為されれば、あとは既に掌中にある。現在の陸海空の各自衛隊が陸軍、海軍として空軍と改まり、この各軍が果たすべき任務が國を守ることに則ち国防であるとするならば、この任務に對する行政組織が内閣府の外局ではなく独立した

師団長は認証官とせよ

国防省であることは当たり前であらう。以上の観点から、この度国会に於いて成立した防衛省設置法案について次ぎの通り述べる。

軍隊といふ名を回復せずに役人だけが「庁」から「省」に移つても仕方がないではないか。軍隊があるから省が必要となるのであつて、省だけあつて国防ができるのか。軍人の名と名譽は未だ回復されていない。結局政治は「未だ憲法」の従来解釈の中に逃げ込んで決断を回避している。とはいえ、防衛庁に止まるよりは前進か、以上。

衆議院議員

西村 真悟

陸海空の各自衛隊の長や各方面總監として首都防衛などの主だった師団長を認証官とすることである。

認証官とは、天皇陛下の面前で任務を付与されるもので、憲法第七条により國務大臣と法律で定める官吏が認証官と定められ、特命全權大使や検事総長また最高裁判所判事などがその法律で定められた官吏である。この認証官に、國を守る任務を果たす部隊の長と幹部がなるのは当然である。これにより、軍政と政治の区別もより明確になり、国家体制における秩序が定まる。



定例理事会兼忘年会 (H18・12・2) で、前列左から吉村副会長、田中西宮市議員、筒井兵庫県議員、西村衆議院議員、濱野会長、三宅八尾市議員、中島相談役

事でした。少年工学校

の制服を着て横須賀市街に外出したとき、米第七艦隊の空母ミッドウェーの入港の絶大な力を発揮して、反対運動に來ていた運動家たちに取り囲まれ胸を刺さる希望の象徴となりまし

のイラク市民から我が國へせん。むしろ、米ソのコントロール下でなされた冷戦と比べると不安定要素は飛躍的に増えているといえま

つ現実問題として、国境の問題に取り組んでいます。我が國の経済水域で我が國が顔で違法操業する外国漁船、常に韓国警備艇などから脅威を受けながら操業する我が國の漁民、なぜ我が國は守つてくれないのか、悲痛な漁民の訴えを私たちが耳にしています。國に對して再三にわたつて漁民の保護や違法操業の徹底取締りを申し入れてきました。

防衛庁が省に昇格したことは一歩前進です。しかし、ここで指摘したように、國民の生命と財産、國土を守るという断固とした意志を國が内外に示さなければ、どんな体制、システムも機能を発揮できません。そして、それは現場の士気を下げる事にもつながります。防衛官という器が整つた今、現場の自衛官にかつてのような思いをさせず、國民に安心感を与えるために、國は断固とした意志を内外に示すべきだ、私はそう考へています。

防衛庁の省昇格に思う

兵庫県議会議員

筒井信雄 (陸自・少年工学校二期)

つかまれたときなど「命の危険を顧みず國を守る事を誓つた我々自衛官が、なぜこんな扱いをされなければならぬのか」と悔しい思いをした事を覚えていま

た。カンボジアでは民主選の成功に大きく貢献し、現在の復興に確かな道筋を

が國を取り巻く環境は、私

が自衛官であつた冷戦時代以上に厳しさを増している

も多しと思ひますが、有事法制を口にしただけで制服自衛官が更迭された時代で

した。ましてや、自衛隊の海外派遣など考へられない

と云つても過言ではありま

非常に身近でか



前国会で防衛庁の省昇格法案が成立しました。現場の自衛官のみならず私たち國民の多くが永らく待ち望み、なかなか果たせずいた目標がやっと達成されたのです。これまでこの運動に關つてこられた方々の御苦労に心からの敬意を表しますとともに、故高橋前会長の悲願のひとつが達成されてよかった、という想いと、見届けて頂きたかっ

たという想いが交錯して

います。

首昇格が決まった瞬間、私も大きな感慨を持たずにはいられません。と

練習艦隊歓迎会の御案内

- 海上自衛隊初任幹部歓迎パーティー
- 入港予定 阪神基地又は大阪天保山
- 入港日 三月下旬予定
- 会費 壹万円
- お問合せ 関西防衛を支える会
- TEL・FAX 〇六―四三〇二―五一八七

第19回 同期の桜を歌う会

- 期日 平成19年4月7日(土曜日)
- 時間 午後1時
- 場所 大阪護国神社
- 出演 梅谷裕子(ソプラノ歌手)
- 会費 1000円(麦酒代)

小楠公顕彰会 發会式



去る十二月十七日 四條畷神社に於て小楠公顕彰会の設立総会が催された。来賓挨拶中の大阪護国神社の柳澤宮司

第2回 日本の詩情・熱血歌唱祭

- 女性コーラス募集
- *歌唱題名 愛国の花、里の秋、故郷
- *練習日 1月28日(日) 午後2時から3時まで
- 2月10日(土) 々
- 2月25日(日) 々々
- 3月4日(日) 々
- *練習場所 塚本幼稚園 (JR塚本駅すぐ)
- *申し込み 実行委員長・新川まで 携帯090-8160-0521
- 男性コーラス
- *歌唱題名 蒙古放浪歌、狼の歌
- *歌唱指導 村上 学
- *練習日 同上場所で午後3時から
- *申し込み 実行委員長・新川まで

国防を考え、意見を述べる者には、その資格が必要であるという。たとえば、軍事について知識がなくてはならないといわれる。

なるほどそれはその通りである。早い話が、核爆弾のことについて何も知らない者が、核の議論をしても、机上の空論となるだけのことだ。ただ単に反対とか賛成とかと言ってもほとんど説得力がない。

となると、軍事の素人は引っこんでいくということになりそうだが、果してそうなのであるか。

たとえば、北朝鮮が核爆発実験をしたときのことである。多くのメディアが、いくら実験に成功しても、それを搭載できるミサイルは北朝鮮においてはまだ開発されていないから大丈夫だと説明していた。テレビ番組に出演していたコメントーターとやらも異口同音にそう述べていた。というわけで、日本国中が安心モードとなってしまう。軍事や外交の専門家がそう言うんだから、素人のわれわれはそれを信じていいと思ってしまう。

しかし、本当にそう思っているのだろうか。私など軍事の素人ゆえに、専門家の意見にかえって疑問を抱く。

なぜなら、次のような仮定を立てることができからだ。すなわち、軍事専門家は素人だから、戦争といえど、すぐ現代の戦争を想定する。すると、核弾頭ミサイルがあるのか、ないのかという話になってしまう。しかし、それは正規軍同士の話にすぎない。もし正規軍が最も苦手なゲリラだったら、ミサイルなんかなくても、核を相手国に撃ちこめるのだ。

その方法は、こうである。私は核実験装置がどのようなものであるのかわからないが、実験データを集めることをやめ、ただ爆発させることだけの装置なら、かなり単純化できるはず。もちろん核放射の抑止を含めて一切の安全装置などは不要とする。そういう身軽な核実験装置なら一隻の船の中に設置することが可能はずだ。つまり、ボタン一つ押せば、船ごと核爆弾となるわけである。

これを船内に作るわけであるから、外から見れば普通の船と変わらない。マンギョンボフ号とやら、あの大型船など改造できるであろう。

その核爆発装置済みの船が、海洋を怪しまれずに越えて悠々と東京湾に入ってくる。そのとき、この船には核爆発できる装置があるとアナウンスする。すると日本は下手に手出しができない。東京がけしんできしんから

軍事と平和と

大阪大学名誉教授 加地 伸行



だ。やがて船を港に横づけし、乗組員を降ろそうとする。日本がいやだといくと、向こうは核を爆発させることを怖すだろう。やむなく下船を許す。そして船中には数人が残り、ボタンの前に座っているだろう。もちろん、その数人は自爆する決心だ。

そう言ったとき、日本政府はどうする。特殊部隊を潜入させ制圧しようとする、彼らは核のボタンを押ししてしまうだろうから、日本政府はなんにもできない。おろろろするだけだろう。

これは、相手の日本に対する宣戦布告に等しい。しかし、一発の銃弾もたがいに撃ちあっていない。

なんだか映画かマンガの世界みたいであるが、こうした意表を突く作戦行動がゲリラなのである。いくら迎撃ミサイルを備えたとしても東京湾に入港した普通船一隻にも対抗できない。ゲリラの発想や行動に対しては、現代正規軍は術がないと言っても過言でない。ベトナムにおける米軍、アフガニスタンにおけるソ連軍、そしていまイラクにおける米軍と、歴史はそれを教えている。

ということは、現代の日本にとって危険な国家である北朝鮮に対する軍事上の議論は、ゲリラを想定してのものである、かなり重要であるということだ。

幸いというべきか、我が国はゲリラ戦に適さない国土である。というのは、ゲリラといえども自分たちだけで戦えるわけではない。一般人の協力があってはじめて可能なのである。けれども、現代の日本は、法秩序を重んずる安定国家であるから、その国家に反逆し、自前のイデオロギーに基づく別の国家を作らねばならないような理由が、まずない。そういう国土において、その政府を倒そうとする外国ゲリラを支援する可能性はない。

しかし、前述のような核実験装置搭載普通船のようなものがゲリラ的に我が国をおびやかす可能性はゼロではない。生物化学兵器の使用も同様である。

このように、国防問題は軍事専門家のみ問題ではなく、素人にとっても素人なりに考えるべき課題なのである。けれども、表立って「軍事」と言っていると見られ、そのくせ「平和」と言っていると大歓迎というように話まわらない観念で過ごしてきたこの六十年である。軍事と平和とは矛盾するどころか、実は表裏一体なのである。すなわち、「軍事が保証する平和」であり、「平和のための軍事」なのである。それが分かっている国防である。



北朝鮮人権週間最後の行事（12月16日）全世界50ヵ所で活動を実施した。大阪は久宝寺公園から高島屋まで御堂筋行進した。200名参加し、有本恵子さんのお父さんと並んで行進する濱野会長夫妻 H.18.12.16



海上自衛隊 阪神基地 餅つき大会

恒例の阪神基地の餅つき大会が旧臘12月2日開かれ、濱野会長他多数の出席者があり盛会裡に行われた。写真は左端・米国DANIEL RUSSEL総領事、中央の座った人・田崎真珠社長、右から濱野会長、前田事務局長、阪神基地・志賀洋介司令

欺瞞に満ちた 戦後体制の脱却を

特定失踪者問題調査会理事 北朝鮮に拉致された日本人を奪還する地方議員の会 副会長 八尾市議会議員

三宅 博

型は、防衛庁が省に昇格することが国において決定されました。戦後六十年を経過し、国防の根幹部分を米国に依存したまま今日まで経過してきたわけでありますが、国家の最大使命である国防問題のタブーがようやく正され、思われず、過去の日本の防衛体制は、本来あるべき一國完結

きたと言っても過言ではない。しかしながら、もういっ加減、米国に対して「強い日本」の存在こそがアジアの安定をもたらす、米国の長期的利益にも合致することを知らしめなければならぬと思う。米国は今ま

可能であることを彼ら自身に悟りつつあるのではないかと。特に、九・一七ニューヨーク爆破テロや対イラク戦の混迷を眺めると、遠からず彼らは超大国としての自信を喪失し、あらゆる部分で内向きに転じてくるよ

うにも思われる。過去の世に依りつつも一超大国が長期に世界を支配してきた例は少なく、力の均衡が長期にわたって維持されてきたといえる。

能するはずのない米国の核の傘に依りつつも、その用心棒として巨額の富を彼らに吸い続けられる。なかたつ我が国の法制度や国家システム並びに日本独自の文化さえ米国の要求によって変えていくような現在

の歴史に対する誇りを喪失せしめるのは極めて当然のことである、と認識しなければなりません。今般、ようやくそのような欺瞞に満ちた戦後体制と決別する第一歩となることを心から祈念するものです。

今般は高橋会長も、それらに対する強い思いをもち続けることに、日本のアイデンティティの回復と本来の姿を取り戻した日本こそが、他のどの国よりも世界平和に貢献することができると信じている。国であることを信じておられました。

最後に高橋会長、我々はあなたの死を決して無駄にいたしません。 合掌

関西防衛を支える会の皆様、新年あけましておめでとうござります。

先般、防衛庁が省に昇格することが国において決定されました。戦後六十年を経過し、国防の根幹部分を米国に依存したまま今日まで経過してきたわけでありますが、国家の最大使命である国防問題のタブーがようやく正され、思われず、過去の日本の防衛体制は、本来あるべき一國完結

きたと言っても過言ではない。しかしながら、もういっ加減、米国に対して「強い日本」の存在こそがアジアの安定をもたらす、米国の長期的利益にも合致することを知らしめなければならぬと思う。米国は今ま

可能であることを彼ら自身に悟りつつあるのではないかと。特に、九・一七ニューヨーク爆破テロや対イラク戦の混迷を眺めると、遠からず彼らは超大国としての自信を喪失し、あらゆる部分で内向きに転じてくるよ

うにも思われる。過去の世に依りつつも一超大国が長期に世界を支配してきた例は少なく、力の均衡が長期にわたって維持されてきたといえる。

能するはずのない米国の核の傘に依りつつも、その用心棒として巨額の富を彼らに吸い続けられる。なかたつ我が国の法制度や国家システム並びに日本独自の文化さえ米国の要求によって変えていくような現在

の歴史に対する誇りを喪失せしめるのは極めて当然のことである、と認識しなければなりません。今般、ようやくそのような欺瞞に満ちた戦後体制と決別する第一歩となることを心から祈念するものです。

今般は高橋会長も、それらに対する強い思いをもち続けることに、日本のアイデンティティの回復と本来の姿を取り戻した日本こそが、他のどの国よりも世界平和に貢献することができると信じている。国であることを信じておられました。

最後に高橋会長、我々はあなたの死を決して無駄にいたしません。 合掌

故・高橋季義前会長に捧げる 八十路を過ぎた男なら

～平成の世に贈る軍歌～

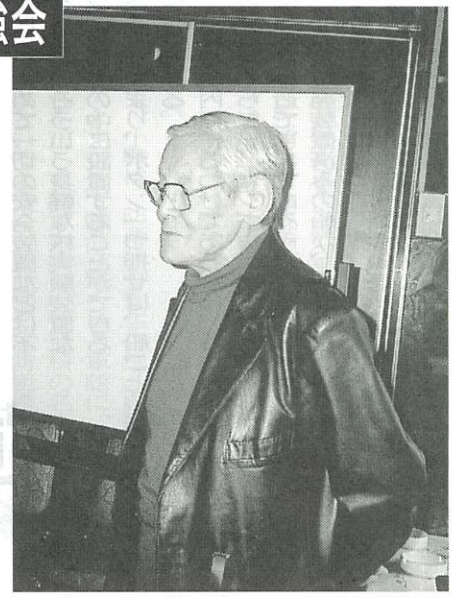
四郎洋子 藤谷裕子 梅谷裕子 梅谷裕子 梅谷裕子

- 1、先の戦で生き残り 破れし山河をば 老たる父母を肩に寄せ 此の故郷を立ちあげし 八十路を過ぎた男なら いまは黙って酒を呑む 酒を呑む
- 2、昭和の御世のどまんなか 戦場がえりの俺たちは ただただ黙って恋をして 口惜し胸に働いた 八十路を過ぎた男なら 戦死の友を拝むだろう 拝むだろう
- 3、子供や孫の年数え いっしかな年輪重ねつ 吾が家の船はどこへゆく 明日の希望を夢見つ 八十路を過ぎた男なら ただただ妻に手をあわす 手をあわす
- 4、いっしかな肩の荷は軽く 父母をあの世に送った夜 涙と共に偲ぶのは 童の頃のことばかり 八十路を過ぎた男なら 明日の日本を祈りつつ 祈りつつ

*わが青春の軍歌(梅谷裕子唄CDより)。この唄は3月11日、日本の詩情・熱血歌唱祭で梅谷さんに唄ってもらいます。なおCDは当日、会場で2000円で販売しますのでよろしくお祈りします。

関防歴史勉強会

中島サロン開催の弁(第4回)



塾長 中島 元(相談役)

講演中の中島塾長

この度、歴史を学ぼう、という勉強会をはじめ、この夏、惜しくも逝去された先代会長・高橋季義氏の遺訓によるものである。故高橋会長は、かねがね「我々は、正々堂々の論陣を張るために、すべからず歴史を学び、そしてそれに考察を加えなければならぬ」と考へておられた。

訓に対してはなほだ相済まないところである。此の際有志相討ちして、定期的な自習学習・また相互に知識を交換し合う集いを持つてはどうか、ということが平成十八年の八月二十六日に第一回の学習会を開催した次第である。

一口に言っても、古今東西に亘るものを網羅しようとしても、これは雲を掴むような事になってしまう。そこでテーマをどの部分に絞るのか、から議論したのである。

我が国は我が国の自主自衛の要である国家防衛は如何にすればよいか。それには第一に東京裁判が戦争犯罪であると主張して審理の対象とした満州事変から終戦ま

東京裁判史観を見直そう



第4回中島サロン出席者 (H・18・12・10)

の十五年間の我が国と世界の関わり方を、我々の眼でもう一度見直してみることが必要である。そして、それには先ずその発端とされる満州事変と果たしてどのような時

代背景のもとで起こったものであるのかを取り上げて見ようではないか。という事になったのである。もとより満州事変について調べていけば当然に、そのよって来たった満州と言われる地と我が国との関わりの始まりとなる、日清・日露の戦い、さらに、その前段となる欧米諸国のアジア・アフリカ侵略の歴史へと溯ることが必要になってくるであろうし、事変もたらしたその後の歴史の進展へと学習対象が広がっていくことにもなるであろう。

内容も又さまざまである。このままでは前会長の遺志を継ぐことが出来ぬのではないか。我々は我が国の自主自衛の要である国家防衛は如何にすればよいか。それには第一に東京裁判が戦争犯罪であると主張して審理の対象とした満州事変から終戦ま

の十五間の我が国と世界の関わり方を、我々の眼でもう一度見直してみることが必要である。そして、それには先ずその発端とされる満州事変と果たしてどのような時

編集 後記

*新しい歳を迎えても「さうか」と言った程度の感慨しかないのも年齢のせいである。と言つても、青年時はスターリンが死ねば、毛沢東が死ねば、世界は変わる、と盛んに聞いたが、この両巨頭が亡くなって我が国を取り巻く政治・軍事情勢は依然として厳しく、むしろ悪化している。

一に東京裁判が戦争犯罪であると主張して審理の対象とした満州事変から終戦ま

ある。移民実験国家アメリカの基準を我が国に押し付けて来る脅威である、かくして我が国の伝統文化は壊れて行く。

今や一合の酒に酔酪し情眼を貪り、青年時代の狂気はうせた。故に感慨が湧かない。多少の感慨は防衛庁が「省」に昇格し、教育基本法改正がなされたくらいだ。これについては諸先生方に執筆して戴いた。

*新年号から中国(支那)哲学の大家である加地伸行先生が小紙の常連執筆者になつて下さった。氏の著書『沈黙の宗教・儒教』(筑摩社)が、この名作の一読をお薦めする。

我が国は我が国の自主自衛の要である国家防衛は如何にすればよいか。それには第一に東京裁判が戦争犯罪であると主張して審理の対象とした満州事変から終戦ま

ある。移民実験国家アメリカの基準を我が国に押し付けて来る脅威である、かくして我が国の伝統文化は壊れて行く。

今や一合の酒に酔酪し情眼を貪り、青年時代の狂気はうせた。故に感慨が湧かない。多少の感慨は防衛庁が「省」に昇格し、教育基本法改正がなされたくらいだ。これについては諸先生方に執筆して戴いた。

*新年号から中国(支那)哲学の大家である加地伸行先生が小紙の常連執筆者になつて下さった。氏の著書『沈黙の宗教・儒教』(筑摩社)が、この名作の一読をお薦めする。

*ソプラノ歌手・梅谷裕子さんが昨年十月、「蘇れ!日本のこころ・わが青春の軍歌」(CD)を発売された。その中の最後に新曲「八十路を過ぎた男なら」という題名でサファイヤというに「平成の世に贈る軍歌」が収録されていた。聴いてある、乞御期待。(新川)

死んでたまるか!!

田幸教授(琉球大)開発の特許商品!!
沖縄モズクと北海道産真昆布がニアシの純粋フコイタンをダブルで配合!!
生活習慣病が気になる方に...

Fucoidan Z
フコイタンZ

【フコイタンZ】150粒(25~50日分) 25,000円
お試し用30粒入り 2,000円と
お徳用350粒入り 50,000円もあります。

Beauty Health Laboratory
ビー・エイチ・ラボ
〒553-0006 大阪市福島区吉野4-19-10
TEL(06)6462-5820 FAX(06)6462-5824
携帯・PC共通 http://bh-labo.net

自衛隊広報紙

広告掲載企業募集

取扱い媒体
中部方面隊広報紙 やましろ
第10師団広報紙 金城
第3師団広報紙 錦城
第13旅団広報紙 みつや

株式会社 若鳩
本社 大阪府守口市新水通2-19-11新水第二ビル
TEL(06)6993-0099
支社 大阪市北区万寿町4-12浪速ビル西館401-B号
TEL(06)6362-0888
FAX(06)6362-3591

第5回・歴史勉強会

中島サロンのご案内

故高橋前会長が歴史を勉強するよ うにと5月の理事会で述べられました。そこで中島元相談役を塾長に、気楽に参加発言できる勉強会を発足させました。ご参加をお待ちしています。

期	2月4日(日)
場	午前11時~14時 錦城閣(中華料理・キャッスルホテル3階) 地下鉄・京阪電車天満駅前車すく
備	中華料理と麦酒で昼食
申	090-8160-0521
入	2000円
費	090-8160-0521
考	(新川)